

【保土ヶ谷区】平成 28 年第 2 回区づくり推進横浜市会議員会議 議事録

開催日時	平成 28 年 6 月 20 日 16 時 00 分 ～ 17 時 10 分
場 所	保土ヶ谷区役所本館 2 階 202 会議室
出席者	<p>【座 長】磯部 圭太 議員 【議 員： 4 名】齊藤 伸一 議員、 坂井 太 議員、 森 敏明 議員、 北谷 まり 議員</p> <p>【保土ヶ谷区： 27 名】菅井 忠彦 区長 齊藤 慶彦 副区長 桃井 宏之 福祉保健センター長 出口 洋一 福祉保健センター担当部長 永瀬 一典 保土ヶ谷土木事務所長 平中 隆 保土ヶ谷消防署長</p> <p style="text-align: right;">ほか関係職員</p>
議 題	1 平成 28 年度保土ヶ谷区運営方針について 2 平成 28 年度保土ヶ谷区編成予算 予算概要及び執行計画について 3 その他報告事項について 4 その他
発 言 の 要 旨	<p>議題 1 平成 28 年度保土ヶ谷区運営方針について 質疑等なし</p> <p>議題 2 平成 28 年度保土ヶ谷区編成予算 予算概要及び執行計画について 質疑等なし</p> <p>議題 3-1 あんしん訪問員の PR カードの作成について 齊藤議員： PR カードは何枚くらい配るのか。</p>

吉富福祉保健課長：

1万枚印刷済で、うち7千枚を配付している。

斉藤議員：

民生委員等から希望があった場合、配付できるか。

吉富福祉保健課長：

割り当てで配付しており、不足等あれば追加配付できる。

坂井議員：

あんしん訪問員のような仕事をする人は増えているのか。

吉富福祉保健課長：

横ばい状態である。ここ数年増えたということはない。

平成27年9月時点で709人である。

坂井議員：

なり手がいないため自治会町内会長がやらざるを得ないこともあるのか。

吉富福祉保健課長：

訪問員に限らず、なかなか手がみつからない状況である。

坂井議員：

訪問員の高齢化や訪問対象者への対応の困難性から、自治会町内会で対応することが難しくなっているのではないか。

区役所に組織をつくってくれと言っているわけではないが、お困りの方をサポートする人材を広く組織していく必要があるのではないか。自治会町内会が支えきれなくなっているのではないかと感じており、保土ヶ谷区から変えていけたらと思っている。

議題3-2

「よこはまウォーキングポイント事業」の制度変更及び「ほどウォーク事業」について

質疑なし

議題 3-3

平成 28 年度地区担当者について

質疑なし

議題 3-4

社会保障・税番号制度（マイナンバー）個人番号カードの交付状況について

質疑なし

議題 3-5

保土ヶ谷公会堂の改修スケジュールについて

坂井議員：

最近公会堂の予約がとりにくい状況があるようだが。

名木地域振興課長：

公会堂については、1/2までという優先予約枠がある。枠を超えて受け付けることはないが、時期により予約が重なってしまうこともある。

斉藤議員：

工事をしない施設は、調査の結果、安全が確認できた施設ということか。

名木地域振興課長：

ご指摘のとおり。

斉藤議員：

学校の体育館も含まれるのか。

名木地域振興課長：

学校については別扱いとなっている。

	<p>議題 4</p> <p>その他</p> <p>北谷議員：</p> <p>3月に土砂災害警戒情報発表時の避難勧告（即時勧告）の対象区域が増えている。対象の世帯への周知は、区で実施済だが、お知らせを一度もらっただけではよくわからないという声もいただいている。さらなる周知をお願いしているところだが、どうなっているか。</p> <p>小磯総務課長：</p> <p>ご指摘のとおり周知は重要と考えており、毎年度梅雨の時期に定期的にお知らせを入れていく計画をすすめている。平成 28 年度は 2 回目ということで、6 月に対象の 250 を超える世帯すべてに周知した。</p>
備 考	